



(様式例第11)

鹿医発事100501号
平成30年10月5日

都道府県知事 殿

住所 鹿児島県鹿児島市城山町8番1号
申請者
氏名 院長 田中 康博

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成29年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21
氏名	独立行政法人国立病院機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター

3 所在の場所

〒892-0853
鹿児島県鹿児島市城山町8番1号

電話 (099) 223-1151

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	370床	370床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要						
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、体外式ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置						
化学検査室	(主な設備) 多項目生化学自動分析器、グルコース自動分析器、全自動電気泳動装置、自動酵素免疫文責装置、尿自動分析装置、血液ガス分析装置、自動血球計数装置、血液線溶分析装置						
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査システム、全自動血液培養検査装置、培養恒温庫						
病理検査室	(主な設備) 光学顕微鏡						
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、臓器撮影装置、電気鋸、臓器計量器、殺菌灯						
研究室	(主な設備) 全自動細胞解析装置、マイクロプレートリーダー解析システム、画像処理システム、遺伝子増幅装置、リアルタイムPCR定量システム、蛍光微分干涉顕微鏡システム、倒立型位相差顕微鏡システム、安全キャビネット						
講義室	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">室数</td> <td style="width: 25%;">2室</td> <td style="width: 15%;">収容定員</td> <td style="width: 45%;">100人</td> </tr> </table>	室数	2室	収容定員	100人		
室数	2室	収容定員	100人				
図書室	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">室数</td> <td style="width: 25%;">1室</td> <td style="width: 15%;">蔵所数</td> <td style="width: 45%;">3,000冊程度</td> </tr> </table>	室数	1室	蔵所数	3,000冊程度		
室数	1室	蔵所数	3,000冊程度				
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 酸素ポンプ、シリンジポンプ、輸液ポンプ、救急医薬品 保有台数 1台						
医薬品情報管理室	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 35%;">[専用室の場合]</td> <td style="width: 15%;">床面積</td> <td style="width: 50%;">10.54 m²</td> </tr> <tr> <td colspan="3">[共用室の場合]</td> </tr> </table>	[専用室の場合]	床面積	10.54 m ²	[共用室の場合]		
[専用室の場合]	床面積	10.54 m ²					
[共用室の場合]							

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	73.3%	算定期間	平成29年 4月 1日～平成30年 3月 31日
地域医療支援病院逆紹介率	80.6%		
算出根拠	A：紹介患者の数		7,277人
	B：初診患者の数		9,921人
	C：逆紹介患者の数		7,999人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
		別紙1のとおり	常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	339床
専用病床	31床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

(別紙1)

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師	中島 均	常勤 非専従	8:30~17:15	
2	医師	片岡 哲郎	常勤 非専従	8:30~17:15	
3	医師	久保 忠広	常勤 非専従	8:30~17:15	
4	医師	楠本 啓介	常勤 非専従	8:30~17:15	
5	医師	福永 研吾	常勤 非専従	8:30~17:15	
6	医師	平峯 温子	常勤 非専従	8:30~17:15	
7	医師	鎌田 博之	常勤 非専従	8:30~17:15	
8	医師	有村 俊博	非常勤 非専従	8:30~15:00	
9	医師	立志 公史郎	非常勤 非専従	8:30~15:00	
10	医師	蘭田 正浩	常勤 非専従	8:30~17:15	
11	医師	塗木 徳人	常勤 非専従	8:30~17:15	
12	医師	田中 秀樹	常勤 非専従	8:30~17:15	
13	医師	東 健作	常勤 非専従	8:30~17:15	
14	医師	田上 和幸	常勤 非専従	8:30~17:15	
15	医師	平峯 聖久	常勤 非専従	8:30~17:15	
16	医師	山下 恵里香	常勤 非専従	8:30~17:15	
17	医師	石川 裕輔	常勤 非専従	8:30~17:15	
18	医師	馬場 善政	常勤 非専従	8:30~17:15	
19	医師	祭 榮鴻	常勤 非専従	8:30~17:15	
20	医師	西村 時紘	非常勤 非専従	8:30~15:00	
21	医師	上野 隆幸	常勤 非専従	8:30~17:15	
22	医師	向原 公介	常勤 非専従	8:30~17:15	
23	医師	川津 祥和	常勤 非専従	8:30~17:15	
24	医師	藏元 慎也	常勤 非専従	8:30~17:15	
25	医師	白桃 雄太	常勤 非専従	8:30~17:15	
26	医師	松岡 秀樹	常勤 非専従	8:30~17:15	
27	医師	脇田 政之	常勤 非専従	8:30~17:15	
28	医師	宮下 史生	常勤 非専従	8:30~17:15	
29	医師	重島 裕也	常勤 非専従	8:30~17:15	
30	医師	谷合 洋造	非常勤 非専従	8:30~15:00	
31	医師	谷口 歩	常勤 非専従	8:30~17:15	
32	医師	河井 浩志	常勤 非専従	8:30~17:15	
33	医師	菰方 輝夫	常勤 非専従	8:30~17:15	
34	医師	海江田 衛	常勤 非専従	8:30~17:15	
35	医師	吉川 弘太	常勤 非専従	8:30~17:15	
36	医師	上今別府 大作	非常勤 非専従	8:30~15:00	

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
特定集中治療室	401.52㎡	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、体外式ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置	可
緊急検査室	631.80㎡	(主な設備) 多項目生化学自動分析器、自動血球計数装置、血液凝固線溶分析装置、血液ガス分析装置、心電計、保冷库、遠心機、X線血液照射装置、血球洗浄装置	可
MRI室	78.56㎡	(主な設備) 磁気共鳴断層撮影装置	可
CT室	67.49㎡	(主な設備) マルチスライスコンピュータ断層診断装置	可
救急治療室	118.79㎡	(主な設備) 人工呼吸器、自動血圧装置、心電図モニター、除細動装置	可

4 備考

平成26年7月11日指令鹿地福第71-1号により救急病院に認定

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,928人 (1,420人)
上記以外の救急患者の数	1,649人 (646人)
合計	3,577人 (2,066人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用件数 2,141件(内訳:CT 1,282件、MRI 530件、RI 329件)
 うち特別な関係にない共同利用件数 2,116件(内訳:CT 1,264件、MRI 524件、RI 328件)
 利用医療機関 540施設(うち特別な関係にない利用医療機関 538施設)
 共同利用に係る病床利用率 87.2%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- ・建物全部
- ・CT、MRI、血管連続撮影装置、RI
- ・上記に付随する器械及び器具一式

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有・無 別紙2
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: 前田 曜佑
 職種: 企画課 外来係

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙3の通り				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院運営規程

(目的)

第1条 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター（以下「病院」という。）は、地域中核病院として従来の責務に加えて、患者中心の一貫性の医療ならびに協定医師会 会員の生涯教育・研修のために、病院の開放、高度医療機器の利用、さらに相互の医学 研修など病病、病診連携により充実した医療を地域住民に提供することを目的とする。

(登録医)

第2条 開放病床利用を希望する医師は、鹿児島医療センター地域医療連携室（以下「連携室」という。）に登録を行う。病院は登録医証を交付する。

2. 登録期間は4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、双方異存がない場合は、自動更新するものとする。

3. 登録医は、自己の都合で登録の取り消しを申し出る場合、この旨を連携室に申請する。

(身分)

第3条 登録医は病院の組織には所属しないが、医長または主治医との連携のもとに病院職員に対して指示することができる。

(責務)

第4条 登録医は病院の諸規則、規程を遵守するとともに、所定の名札を着用するものとする。

2. 病院の主治医は診断治療の責任をもつものとする。

(紹介、外来、入院の手順)

第5条 患者紹介、入院の手順、入院の要否の決定は各診療科と登録医の合意によるものとする。

ただし、外来検査のみ希望の場合は、あらかじめ日時を予約することができるものとする。

(診療)

第6条 登録医は、医長または主治医との連携のもとに、紹介した入院患者を診察し、検査や治療に参加することができる。

ただし、次の事項を遵守するものとする。

(1) 診察のために来院するときは、医事課（時間外は管理当直）備え付けの名簿に記入するものとする。

(2) 診療時間は、原則として午前9時より午後8時までとする。

(3) 診療を行うときは、病院の方針を遵守するものとする。

(退院の手順)

第7条 患者の退院に際し、主治医は必要に応じ、登録医と退院後の治療方針について協議する。また、登録医は主治医から入院経過及び結果の報告を受けるものとする。

(研究会、研修会等)

第8条 登録医は病院で行う研究会、研修会等に参加することができる。
病院は登録医の出席し易い研究会、研修会等を開催するものとする。

(支 援)

第9条 病院は登録医の院内活動を支援し、便宜をはからねばならない。

(実施細目)

第10条 各診療科医長は各診療科に適当な実施細目を作ることができる。この際、開放型病院運営協議会にはかり、院長の承認を得る必要がある。変更する場合も同様である。

(開放型病院運営協議会)

第11条 開放型病院の運営を円滑に行うため、開放型病院運営協議会を設置し、要綱の改正及び運営管理に関する事項を協議する。

附則 この規程は平成17年7月27日より施行する。

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院連携登録医会契約書

(以下「甲」という。)と独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター院長 田中 康博(以下「乙」という。)は、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院連携登録医会(以下「登録医会」という。)について、次のとおり契約を締結する。

(登録医会登録)

第1条 甲は、乙の登録医会に登録する。

(紹介患者の入院)

第2条 乙は、甲からの紹介患者の入院は、最優先として夜間や休日の受け入れにも最大限の努力を払う。

(病院施設、設備の開放)

第3条 乙は甲に対し、乙の病院施設並びに設備を以下のとおり開放する。

- 一 乙は甲からの紹介患者について、共同指導の申し出に応じ、乙の施設を開放する。
- 二 乙は甲からの検査依頼に応じ、最優先的に検査設備を開放する。

(協議)

第4条 この契約に定めのない事項、または各条項の解釈について疑義が生じたときは、甲乙協議して決定する。

(契約期間)

第5条 この契約期間は、平成 年 月 日から平成 年 月 日までとする。
ただし、契約期間満了1ヵ月前までに甲乙いずれか一方から何らかの意思表示をしない時は、期間満了の翌日において向こう1ヵ年順次契約を更新したものとする。

上記のとおり契約を締結したことを証明するため、契約書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ各1通を保有するものとする。

平成 年 月 日

甲

乙 鹿児島市城山町8番1号
独立行政法人国立病院機構
鹿児島医療センター院長 田中 康博 印

登録医療機関名簿

No	医療機関名	開設者名	医師名	医師名のフリガナ	登録日	郵便番号	住所	主たる診療科目	地域医療支援施設開設者との経営上の関係
1	宇根クリニック	宇根 文雄	宇根 文雄	ウネ フミオ	H15.12.18	892-0811	鹿児島市玉里町地3-26-12	内・眼・神内・リハ	無
2	四本クリニック	四本 統一	四本 統一	ヨシホ ユウイチ	H16.3.4	891-0144	鹿児島市鹿児島市坂之上6-6-6	肛・胃・呼・外	無
3	かわなべ共立内科	医療法人 岩倉会	児玉 雅彦	コナマ マサヒコ	H16.3.23	897-0221	鹿児島市南九州市川辺町出部3971	内・呼・消・産	無
4	養生クリニック	医療法人 康生	船水 康夫	フナヅ ヲサム	H16.3.24	899-2502	鹿児島市日置市伊集院町数草3-1-3	内・呼・消・胃・腸・児・精・神内	無
5	中馬クリニック	医療法人 中馬クリニック	中馬 裕子	ナカウマ ユウコ	H16.3.24	899-5852	鹿児島市姶良郡姶良町平松5801	内・消	無
6	今村クリニック	医療法人 緑樹会	今村 勉	イマムラ ツトム	H16.4.1	892-0815	鹿児島市高田町1-13	内・外・放・整・麻	無
7	東開内科クリニック	医療法人 東開内科クリニック	楠松 俊昭	ナガソキ ヒデアキ	H16.4.1	891-0115	鹿児島市東開町3-131	内・消・産・呼	無
8	江川内科消化器科	江川 伸一郎	江川 伸一郎	エガワ ノブイチロウ	H16.4.1	892-0817	鹿児島市小川町2-2	消・内	無
9	鹿児島内科診療科	医療法人 鹿児島会	鹿丸 円	カシワバ 円	H16.4.1	881-1105	鹿児島市東山町6513	産・内	無
10	黒岩内科	医療法人 さくら会	黒岩 賢規	クロイワ ケンキ	H16.4.1	899-2504	鹿児島市伊集院町2丁目75	内・産	無
11	外山内科クリニック	医療法人 愛樹会	外山 幹樹	ソノノベ トシキ	H16.4.1	890-0008	鹿児島市伊敷6-19-25	内・産・胃・腸	無
12	平川内科クリニック	平川 嘉久	平川 嘉久	ヒラカワ タカヒサ	H16.4.1	890-0067	鹿児島市真砂本町3-77	内・産・児・消・産	無
13	徳元クリニック	医療法人 天心会	徳元 弘和	トクモト ヒロカズ	H16.4.1	892-0816	鹿児島市山下町12-8	内・産	無
14	前田内科クリニック	医療法人 仁康会	前田 忠	マエダ ナカツ	H16.4.1	892-0817	鹿児島市小川町9-1	内・消・産	無
15	前島医院	医療法人 前島	前島 裕幸	マエノシマ ユキヨシ	H16.4.1	891-1105	鹿児島市新山町1308	内・消・産	無
16	小田原病院	医療法人 尚愛会	牧 瑛	マキ ヒロコ	H16.4.1	892-0844	鹿児島市山之口町8-1	内・消・呼・産・胃・腸・リハ	無
17	宮田内科消化器科	医療法人 孔生会	宮田 晋	ミヤタ シン	H16.4.1	892-0871	鹿児島市古野町3037-46	内・消	無
18	村岡内科	村岡 敏宏	村岡 敏宏	ムラオキ トシヒロ	H16.4.1	890-0045	鹿児島市2丁目12-2	内・消・産	無
19	徳清医院	徳清 嘉生	徳清 嘉生	トクシヨウ ケイセイ	H16.4.1	892-0875	鹿児島市川上町3444-1	消・内・児・神	無
20	山下わたる内科	医療法人 祐和会	山下 互	ヤマノタカ ヒツ	H16.4.1	899-5421	鹿児島市姶良郡姶良町東野田24-1	内・消・産	無
21	吉井胃腸肝胆内科	医療法人 真会	吉井 隆美	ヨシイ ヒロユキ	H16.4.1	893-0014	鹿児島市草牟田2-10-2	内・消・産	無
22	岩尾病院	医療法人 あおぞら会	中村 尚人	ナカムラ ナオヒト	H16.6.24	892-0837	鹿児島市甲斐町17-18	内・消・産	無
23	日高病院	医療法人 仁康会	日高 正八郎	ヒタカ マサヤス	H16.6.25	892-0847	鹿児島市西千石町8-14	産・リハ	無
24	霧出養護内科クリニック	霧出 義輝	霧出 義輝	キリダテ ユキヒル	H16.7.1	890-0058	鹿児島市下荒田3-39-9	内・消・リハ	無
25	村山内科循環器科	村山 隆	村山 隆	ムラヤマ タカ	H16.7.2	890-0041	鹿児島市城西2-6-7	内・産・児・放	無
26	市来内科	医療法人 健仁会	萩原 健一	ハギハラ ケンイチ	H16.7.16	899-2103	鹿児島市新屋敷町4-10	消・内・呼・産	無
27	石塚レディースクリニック	医療法人 石塚レディースクリニック	石井 裕子	イシヅカ ユキヨコ	H17.8.1	892-0838	鹿児島市新屋敷町4-10	産・婦	無
28	伊集院病院	医療法人 清泉会	伊集院 社孝	イシツツミ シヤウコウ	H17.8.1	892-0806	鹿児島市油之上町9-27	産・婦・産	無
29	よしながワイメンズクリニック	医療法人 よしながワイメンズクリニック	植木 徳彦	ウキ ヤシキ	H17.8.1	890-0055	鹿児島市上荒田町2-6-201	産・婦・産	無
30	柿木病院	医療法人 聖成会	柿木 隆成	カキキ タカナリ	H17.8.1	892-0846	鹿児島市加治屋町15-3	産・婦・産	無
31	こしやクリニック	吉野 裕一郎	吉野 裕一郎	ヨシノ ヒロイチロウ	H17.8.1	892-0845	鹿児島市西田町2丁目21-3	産・婦	無
32	原口産婦人科	医療法人 広祐会	原口 裕之	ハラノキ ヒロユキ	H17.8.1	899-4332	鹿児島市国分中央3丁目17-13	産・婦	無
33	みつお産婦人科	医療法人 三世会	酒原 徳彦	ミツオ ナオヒコ	H17.8.1	899-5117	鹿児島市草牟田町307-1	産・婦	無
34	フィオーレ第一病院	医療法人 緑波会	山本 健一	ヤマモト ケンイチ	H17.8.1	899-5215	鹿児島市草牟田町見次1296-3	産・婦	無
35	有馬内科クリニック	有馬 桂	有馬 桂	アリマ ケイ	H17.9.5	892-0847	鹿児島市西千石町3-21	内・消・産・児・胃	無
36	株内科医院	医療法人 肥芳会	株 芳郎	カキ ヨシロウ	H17.9.5	899-8107	鹿児島市姶良郡姶良町津川498	内・胃・児・眼・リハ・放	無
37	古川胃腸科クリニック	医療法人 蕨英会	古川 勉	フルカワ ツトム	H17.9.5	891-0151	鹿児島市光山一丁目6-23	胃・放・外・リハ	無
38	豊人クリニック	医療法人 豊望会	黒岩 善文	クロイワ タカフミ	H17.9.7	891-0203	鹿児島市草牟田町6016	内・呼・消・産	無
39	プリムラクリニック	中村 敦子	中村 敦子	ナカムラ アツコ	H17.9.7	892-0842	鹿児島市草牟田町1-1第8川北ビル6F	内・放	無
40	源崎クリニック	医療法人 泰水会	源崎 泰範	ヒラシキ ヤシタカ	H17.9.7	890-0068	鹿児島市西田町2丁目21-4	内・産	無

(別紙3)

No	医療機関名	開設者名	医師名	医師名のフリガナ	登録日	郵便番号	都道府県	住所	主たる診療科目	地域医療支援病院認定 者との経営上の関係
41	花倉病院	医療法人仁愛会	崎元 阿子	サキモ アコ	H17.9.8	899-0871	鹿児島県	鹿児島市吉野町5147	精神科	無
42	東内科小児科クリニック	医療法人天蓮会	高橋 香子	タカハシ コウコ	H17.9.9	891-2104	鹿児島県	垂水市田津3485-1	内・小児科	無
43	腫瘍内科クリニック	医療法人真心会	原副 行雄	ハラノウ キヨヲ	H17.9.9	891-0113	鹿児島県	鹿児島市栗谷山5丁目26-10	胃・消化器・内 科・病	無
44	聖人温泉病院	医療法人松城会	岩城 政秋	イワキ サダアキ	H17.9.12	899-5111	鹿児島県	霧島市聖人町葛城1丁目264-2	内・病	無
45	滝辺医院	滝邊 好文	滝邊 好文	タキベ ヒロフミ	H17.9.12	899-2703	鹿児島県	鹿児島市上谷口町2970	外・小児科	無
46	厚地記念クリニック	医療法人慈園会	陣之内 正史	アライノ マサシ	H17.9.22	892-0841	鹿児島県	鹿児島市隈田町12-1	皮膚科	無
47	川畑医院	医療法人川畑医院	川畑 清香	カハタキ ヒヨコ	H17.9.27	892-0872	鹿児島県	鹿児島市大朝丘2丁目22-18	内・病	無
48	水村外科内科	医療法人水村外科内科	木村 俊博	キムラ ヒロユキ	H17.10.3	899-2701	鹿児島県	鹿児島市石谷町2101-7	内・小児科・小児科・小児科	無
49	朝戸医院	医療法人朝戸医院	朝戸 末男	アサト オスミ	H17.10.6	891-0116	鹿児島県	大島郡和泊町和泊14	消化器科・内・病	無
50	黒木野内科・循環器科	医療法人芳澤会	有川 清延	アライノ ヒロユキ	H17.10.6	896-0012	鹿児島県	いちき串木野市中隈町72	内・病	無
51	有馬新一クリニック	有馬 新一	有馬 新一	アライノ ヒロユキ	H17.10.6	890-0036	鹿児島県	鹿児島市下原田2丁目1-17アラスカ荒田3F	内・病	無
52	若山内科医院	医療法人輝陽会	有山 尊郎	アライノ ヒロユキ	H17.10.6	898-0054	鹿児島県	鹿児島市枕崎市鹿瀬町33	内・病	無
53	福森内科消化器科	医療法人幸其会	福森 英明	フクモリ ヒロユキ	H17.10.6	891-0116	鹿児島県	鹿児島市上福元町5723-3	内・病	無
54	大蔵医院	医療法人英世会	大蔵 英世	オホクラ ヒロユキ	H17.10.6	891-9214	鹿児島県	鹿児島市大島郡知名町知名16-2	内・病	無
55	沖野循環器科病院	医療法人秀葉会	沖野 秀紀	オキノ ヒロユキ	H17.10.6	892-0843	鹿児島県	鹿児島市西千石町13-30	内・病	無
56	小田代病院	医療法人惠徳会	小田代 卓也	オダノ タクヤ	H17.10.6	890-0054	鹿児島県	鹿児島市赤田1丁目25-6	外・小児科・小児科・小児科	無
57	市比野記念病院	社会医療法人卓輝会	黒田 篤	クロダ アツシ	H17.10.6	895-1203	鹿児島県	鹿児島市薩摩山内市越後町市比野3079	内・病	無
58	鎮村病院	社会医療法人愛仁会	長柄 義男	ナガベ ヨシオ	H17.10.6	890-0008	鹿児島県	鹿児島市伊敷2丁目1-2	内・病	無
59	つかさヘルスケアホスピタル	医療法人松柏会	牧野 貞利	カシノ サダトシ	H17.10.6	891-0104	鹿児島県	鹿児島市山田町441	内・病	無
60	小原病院	医療法人厚生会	宮里 隆高	ミヤリ リョウカウ	H17.10.6	898-0003	鹿児島県	桜島市折戸町109	内・病	無
61	始良市立北山診療所	始良市長	佐利 通宏	サリ トウコウ	H17.10.6	899-5541	鹿児島県	始良市北山842	内・病	無
62	今船総合病院	公益財団法人昭和会	徳高 信吉	トクタカ ノブキチ	H17.10.6	892-8502	鹿児島県	鹿児島市下原町4-16	内・病	無
63	いぶさま内科	医療法人南星会	渡邊 寛 敏郎	ワタナベ ヒロユキ	H17.10.6	891-0402	鹿児島県	鹿児島市宿南町十町2321-1	内・病	無
64	指宿総合病院	医療法人浩然会	志永 善文	シノグサ ナリキ	H17.10.6	891-0402	鹿児島県	鹿児島市宿南町十町1145	内・病	無
65	聖人温泉病院	医療法人松城会	市成 浩太郎	シナゲチ ヒロユキ	H17.10.7	899-5111	鹿児島県	霧島市聖人町延城1丁目264-2	内・病	無
66	三郎今村クリニック	医療法人健壽会	今村 健三郎	イマムラ ケンゾウ	H17.10.7	892-0816	鹿児島県	鹿児島市山下町9-1	内・病	無
67	五反田内科クリニック	医療法人天祥会	五反田 満幸	イツエダ マツサキ	H17.10.7	892-0844	鹿児島県	鹿児島市東新2丁目7-82	内・病	無
68	内科栄田病院	医療法人栄心会	栄田 邦彦	サカタ ナリキ	H17.10.7	892-0827	鹿児島県	鹿児島市東町中町12-14	内・病	無
69	中央病院	社会医療法人天陽会	厚地 良彦	アツチ リョウキ	H17.10.13	892-0822	鹿児島県	鹿児島市東町中町12-14	内・病	無
70	厚永内科	医療法人青雲会	高永 裕一	タカノ 裕一	H17.10.13	890-0002	鹿児島県	鹿児島市西伊敷4丁目7-7	内・病	無
71	西内科・循環器科	西 征二	西 征二	ニシ セイジ	H17.10.13	892-0842	鹿児島県	鹿児島市栗谷山5丁目157	内・病	無
72	志崎クリニック	医療法人豊光会	志崎 泰弘	シマザキ タカヒロ	H17.10.13	899-5231	鹿児島県	始良市加治木町坂土2628	内・病	無
73	つみのり内科クリニック	山下 輝徳	山下 輝徳	ヤマノ ヒロノブ	H17.10.13	891-0105	鹿児島県	鹿児島市中山町5157	内・病	無
74	枕崎市立病院	枕崎市長	佐々木 健	ササキ ケン	H17.10.14	898-0034	鹿児島県	枕崎市日之出町230	内・病	無
75	鶴井内科小児科医院	医療法人五光会	鶴井 光	ツルイ ヒカル	H17.10.14	899-2503	鹿児島県	日直市伊集院町第四町1丁目72-3	内・病	無
76	牧瀬内科クリニック	医療法人牧瀬内科クリニック	牧瀬 洋一	マセノ ヒロユキ	H17.10.14	899-7302	鹿児島県	曾於郡大崎町神橋2394-1	内・病	無
77	松下亮治内科	医療法人新豊会	松下 亮治	ヤマダ ヒロユキ	H17.10.14	899-5223	鹿児島県	始良市加治木町新生町130-1	内・病	無
78	益崎内科	医療法人広済会	益崎 善文	マシマキ ナリキ	H17.10.14	891-0114	鹿児島県	鹿児島市小松橋2丁目22-25	内・病	無
79	西原クリニック	医療法人弘愛会	坂元 弘人	サカモト ヒロト	H17.10.20	890-0032	鹿児島県	鹿児島市西坂5丁目12-5-2	内・病	無
80	荒田小児科医院	荒田 弘道	荒田 弘道	アラタ ヒロミチ	H17.10.27	892-0077	鹿児島県	鹿児島市吉野町2210-3	内・病	無

(別紙3)

No.	医療機関名	開設者名	医師名	医師のフリガナ	登録日	郵便番号	診療所	主たる診療科目	地域医療支援病院関係者との連携上の関係
81	大塚小児クリニック	医療法人 童心会	大塚 雄介	オオツカ ユウスケ	H17.10.27	800-0034	鹿児島市市上2丁目15-11	児	無
82	丸小児科	医療法人 丸小児科	丸小 高恒	マルコウ タカタ	H17.10.27	899-5223	鹿児島市始良市加治木町新生町127	児	無
83	きたはらこどもクリニック	医療法人 きたはらこどもクリニック	北原 琢磨	キタハラ タツマ	H17.10.27	899-4343	鹿児島市国分野口西19-31	児	無
84	昭和会クリニック	公益財団法人 昭和会	玉田 泉	タマダ イミ	H17.10.27	892-0852	鹿児島市下尊町2-6	児	無
85	あいら小児科	原口 啓	原口 啓	アキラキ ヒロユキ	H17.10.27	899-3431	鹿児島市西餅田119-1	児	無
86	集立志徳病院	鹿児島県知事	福重 孝郎	フクシゲ タカロウ	H17.10.27	895-2576	鹿児島市大口市宮人502-4	児	無
87	うえはらクリニック	医療法人 上原会	上原 豊光	ウエハラ トヨミツ	H17.10.27	891-1304	鹿児島市本名町1071-1	児	無
88	三宅病院	医療法人 三宅会	三宅 聖	ミヤケ ヒロシ	H17.10.31	891-0141	鹿児島市谷山中央7丁目3-1	児	無
89	泉之上クリニック	馬渡 浩介	馬渡 浩介	ウマワタ ヒロシ	H17.11.16	892-0806	鹿児島市市地之上町10-7	児	無
90	鹿児島市医師会立医療センター	鹿児島市長	藤崎 邦夫	フジサキ ナオ	H17.11.9	899-5112	鹿児島市霧島市霧島市永3320	児	無
91	うらむら脳神経外科クリニック	医療法人 けいゆう会	内村 公一	ウラムラ コウイチ	H17.11.17	890-0005	鹿児島市下伊敷1-43-2 種子田ビルF	児	無
92	川島クリニック	川島 洋丞	川島 洋丞	カワシマ ヒロシ	H17.11.29	899-5215	鹿児島市加治木町本町353	児	無
93	麗社クリニック胃腸科	医療法人 麗社クリニック	麗社 真人	ウツシマ マコト	H18.5.25	891-0103	鹿児島市真徳寺台1丁目28-15	児	無
94	いんばもりクリニック	植森 洋平	植森 洋平	ウヅシマ マコト	H18.10.10	890-0048	鹿児島市西田1丁目4-15	児	無
95	耳鼻咽喉科田上クリニック	医療法人 植代会	伊東 祐久	イダ ユキヒサ	H19.2.20	890-0034	鹿児島市市田上1丁目23-10	児	無
96	河盛内科	河盛 伸秋	河盛 伸秋	カワシマ ヒロシ	H19.2.23	899-5421	鹿児島市始良市東餅田312-1	児	無
97	はしぐちクリニック	医療法人 柳田会	柳田 信治	ハシグチ ヒロシ	H19.4.18	897-0031	鹿児島市菅さつま市加世田東本町14-14	児	無
98	石神胃腸科内科医院	石神 信治	石神 信治	イシガミ ヒロシ	H20.4.4	899-2201	鹿児島市日置市東町邊田3261-6	児	無
99	前田内科消化器科	医療法人 巨聖会	前田 利宗	マエダ リムネ	H20.8.21	892-0816	鹿児島市建礼寺山下町12-27	児	無
100	梅津整形外科医院	医療法人 梅津整形外科医院	梅津 隆雄	ウメヅ タツヤ	H20.10.29	892-0873	鹿児島市都元2丁目11番20号	児	無
101	隆成会病院	医療法人 隆成会	島本 隆和	シマモト ヒロカズ	H21.11.24	890-0085	鹿児島市千日町9-9	児	無
102	新医耳鼻咽喉科医院	医療法人 新医耳鼻咽喉科	朝隈 真一郎	アサクマ シンイチ	H22.1.12	892-0843	鹿児島市和田1丁目30-14	児	無
103	岐島クリニック	医療法人 康和会	岐島 真史	サメシマ マサシ	H22.7.1	891-0143	鹿児島市西餅田578-2	児	無
104	まつなが耳鼻咽喉科	医療法人 信幸会	松永 信也	マツナガ シンヤ	H22.7.1	890-0008	鹿児島市西餅田578-2	児	無
105	おおのクリニック	医療法人 真誠会	大野 文夫	オノノ フミオ	H22.7.1	899-5431	鹿児島市西餅田578-2	児	無
106	でぐち耳鼻咽喉科	医療法人 エバーグリーン	出口 浩二	デグチ コウジ	H22.7.1	899-5852	鹿児島市平松2878-15	児	無
107	西郷耳鼻咽喉科クリニック	医療法人 善徳会	西郷 浩文	ニシノ ヒロフミ	H22.7.1	899-5215	鹿児島市加治木町本町249-1	児	無
108	ふくい耳鼻咽喉科クリニック	医療法人 エターナル	福岩 達哉	フクイワ タツヤ	H22.7.1	897-0006	鹿児島市菅さつま市加世田本町22-5	児	無
109	池田病院(医療)	社会医療法人 篤仁会	池田 大輔	イケダ タイスケ	H22.8.1	893-0024	鹿児島市西餅田下蔵川町1830	児	無
110	たねだひ医療科クリニック	種子田 洋史	種子田 洋史	タネダ ヒロフミ	H23.11.16	892-0854	鹿児島市長町18-11	児	無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

「認定看護師による出前講座」 「救急医療懇談会」 「鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会」 「エキスパートナース研修」 「城山循環器カンファ」 「がん緩和ケア研修会」 「城山消化器疾患連携セミナー」
--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	26回
(2) (1) の合計研修者数	1,617人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有・無
 イ 研修委員会設置の有無 有・無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
別紙4の通り				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

(別紙4) 研修指導者一覧

研修指導医氏名	職種	診療科	役職	臨床経験年数	特記事項
中島 均	医師	循環器内科	副院長	33	
松崎 勉	医師	耳鼻咽喉科	統括診療部長	33	
城ヶ崎 倫久	医師	循環器内科	臨床研究部長	34	
蘭田 正浩	医師	循環器内科	循環器内科部長	31	
内山 典明	医師	放射線科	放射線科部長	38	
平木 嘉幸	医師	放射線科	放射線科部長	34	
魚住 公治	医師	内科	腫瘍内科部長	35	
大塚 真紀	医師	内科	血液内科部長	32	
野元 三治	医師	病理診断科	病理診断科部長	30	
菰方 輝夫	医師	外科	外科部長	30	教育責任者
金城 玉洋	医師	心臓血管外科	心臓血管外科部長	32	
大渡 五月	医師	内科	血液内科医長	26	
郡山 暢之	医師	糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌内科医長	29	
山路 尚久	医師	消化器内科	消化器内科医長	19	
片岡 哲郎	医師	循環器内科	循環器内科医長	25	
久保 忠弘	医師	循環器内科	循環器内科医長	27	
高崎 州亜	医師	循環器内科	循環器内科医長	21	
楠元 啓介	医師	循環器内科		16	
福永 研吾	医師	循環器内科		14	
塗木 徳人	医師	循環器内科	循環器内科医長	25	
田中 秀樹	医師	循環器内科	救急科医長	25	
東 健作	医師	循環器内科		19	
田上 和幸	医師	循環器内科		17	
山下 恵里香	医師	循環器内科		12	
蔡 榮鴻	医師	循環器内科		10	
石川 裕輔	医師	循環器内科		9	
松岡 秀樹	医師	脳血管内科	脳血管内科医長	26	
脇田 政之	医師	脳血管内科	脳血管内科医長	22	
宮下 史生	医師	脳血管内科	脳血管内科医長	20	
千代丸 剛	医師	泌尿器科	泌尿器科医長	17	
田中 裕治	医師	小児科	小児科医長	29	
森田 康子	医師	小児科		13	
大田 俊一郎	医師	婦人科	婦人科医長	26	
谷口 歩	医師	脳神経外科	脳神経外科医長	19	
井手上 淳一	医師	放射線科	放射線科医長	23	
米谷 新	医師	麻酔科	麻酔科医長	21	
肥後 友紀	医師	麻酔科		14	
松下 茂人	医師	皮膚腫瘍科・皮膚科	皮膚腫瘍科・皮膚科医長	24	
中村 康典	歯科医師	歯科口腔外科	歯科口腔外科医長	25	

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
研修センター3階	119.7㎡	(主な設備) 液晶プロジェクター、スクリーン 音響機器
管理棟会議室	152.22㎡	(主な設備) 液晶プロジェクター、スクリーン 音響機器、高精細カラーモニター
管理棟テレビ会議室	71.5㎡	(主な設備) プラズマディスプレイ、画像転送装置、動画ビューア装置、高精細カラーモニター、OHPプロジェクター、ホワイトボード スクリーン
	㎡	(主な設備)
	㎡	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 田中 康博
管理担当者氏名	管理課長 池田 克己、企画課長 柳橋 勝也 副看護部長 佐々木 容子、薬剤部長 平山 俊一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテサーバー及び各該当科、室及び課にて保存	診療に関する諸記録⇒電子カルテ独立サーバー内、患者ID別管理。 紙ベースについては下記の通り (旧診療録等：カルテ保管庫、患者ID別) (処方せん：薬剤科倉庫、発行日別) (他諸記録：各部署保管庫、患者別日別)
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	企画課	年度別(年間)ファイル
	救急医療の提供の実績	企画課	年度別(年間)ファイル
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	管理課	年度別(年間)ファイル
	閲覧実績	管理課	提出申請書(日付別)ファイル
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	企画課	電子カルテ内パソコン管理による帳簿出力

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長 森 幸一
閲覧担当者氏名	庶務係長 山本 孝平
閲覧の求めに応じる場所	管理課庶務係
閲覧の手続の概要 ①情報公開窓口による十分な相談・案内 ②情報公開窓口へ開示請求の申し出 ③開示請求手数料の納付 ④開示請求の受理 ⑤開示・不開示の審査 ⑥開示（閲覧・謄写）	

前年度の総閲覧件数		0件
閱 覧 者 別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回	
委員会における議論の概要		
平成29年10月23日 地域医療支援病院運営委員会		
①現況報告		
・ 地域医療支援委員会運営規程		
・ 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率の推移		
・ 救急患者取扱件数		
・ 高額医療機器共同利用の実績		
・ ドクターヘリ受入状況		
・ 研修会実績		
・ 開放型登録医の登録状況		
②質疑応答		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

鹿児島医療センター地域医療支援病院

第16回 運営委員会議事録

【日時】平成29年10月23日(月)18:30~19:30

【場所】城山観光ホテル 4階 ムーンライト

【出席者】新名 清成 (鹿児島市医師会副会長)

西島 徹 (鹿児島県薬剤師会副会長)※代理出席

大野 達郎 (学識経験者)

中菌 正人 (鹿児島市消防局長)

土井 由利子 (鹿児島市保健所長)

田中 康博 (鹿児島医療センター院長)

中島 均 (" 副院長)

松崎 勉 (" 統括診療部長)

城ヶ崎 倫久 (" 臨床研究部長)

森 幸一 (" 事務部長)

木佐貫 涼子 (" 看護部長)

事務局(園田正浩、大坪雅彦(司会)、田上さとみ、佐伯勇輔、吉留由希乃、水元玲子、前田曜佑(議事))

【議事内容】

1. 院長挨拶

鹿児島医療センターの田中でございます。本日は平成29年度の鹿児島医療センター地域医療支援病院運営委員会に大変お忙しい中、ご出席賜りまして本当にありがとうございます。当院は地域支援病院として少しでも地域に貢献できるよう毎日運営しております。医師が常勤で82~3名、非常勤等を足すと110名ほどと10年前に比べてかなり大所帯になってはいますが、貢献できているかという点はまだ不十分であると思っております。また当院は場所が良すぎてヘリポートができないこと、病院が古くなっていることなどの問題がありますが、ドクターカーを購入して、浜町ヘリポートまで迎えに行ったりと、高度医療について自信を持ってやっております。少しでも皆さまのお役にたてるように職員一丸となって日々努めておりますので今後ともよろしくお願い致します。

2. 委員長挨拶

市医師会の副会長をしております新名でございます。よろしくお願い致します。みなさん御存知のとおり地域支援病院とはいろいろな事が求められておりまして、医療体制ができているか、紹介率や逆紹介率がどうか、200床以上の病床を提供する、地域医療を提供すること。あるいは医療従事者の資質を向上させるためにいろいろな研修をしなければいけ

ないとか、このような委員会を開催しているか、患者さんの相談窓口を設置しているか等多岐に渡り求められております。そのため今回のこの会多数の知識がある委員の方々が集まっておりますので、鹿児島医療センターの地域支援が潤滑に運営していけるように活発なご意見等よろしくお願いいたします。

3. 地域医療支援病院の現況報告

ありがとうございました。それでは引き続き事務局より進行させていただきます。お手元の運営委員会資料冊子をご覧ください。(大坪経営企画室長)

① 地域医療支援病院運営委員会規程

始めに運営委員会規程になります。資料の3頁です。昨年からの変更点はございません。第2条に当委員会の目的と致しまして、「地域のかかりつけ医、歯科医の先生方からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保のために必要な支援を行うため、業務遂行状況について審議し、病院の管理者に意見を述べる場として、この委員会が設けられております。第3条で構成委員は、院外の各代表の方6名と院内幹部6名の12名での委員会です。

② 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率(平成26年度～29年度)

月別患者紹介率及び逆紹介率(平成26年度～29年度)

続きまして資料6頁からです、グラフをご覧ください。紹介率・逆紹介率の推移のグラフになります。赤い折れ線グラフが平成29年度になります。平成29年度ですが4月は少し悪かったのですが、現在のところ71.0%となっております。昨年度が72%、その前が68.2%と現在順調に推移しているものと思われま。特に年度の後半が当院の診療構成上高くなりますので、昨年の9月までは70.6%でしたので若干高くなっております。

次に7頁、下のグラフの逆紹介率です。こちらも4月は少し数字が悪かったのですが、現在75.5%となっております。昨年が平均して75.7%となっております。紹介率、逆紹介率をあげるために、病院訪問等を強化しているところであります。

資料8頁～9頁は、紹介率・逆紹介率のグラフの元データです。今年度のを見てみると、紹介は増えていますが、逆紹介は減っている状況です。表の⑦番の所が逆紹介のところになりますが、666と昨年より50件ほど少なくなっている状況です。

③ 救急車搬送数及び救急患者取扱件数(平成26年度～29年度)

10頁が救急患者数の状況です。年度の救急搬送数についてですが、平成26年度が、1,748件、27年度が、1,953件、28年度は、2,011件となっております。今年度ですが、9月までの実績のため平均で比較しますと、一月当たり155.3件となっております。図表右の26年度からの過年度の平均が145.7件、162.8件、167.6件となっておりますので、28年度と比較して少し数は落ちていますが、当院の救急については循環器・脳疾患がメインとなり1月～3月の時期に救急患者数が増加する傾向があります。昨年度と同程度になると思われま。

頁下段の棒グラフは各診療科の搬送数です。右端に救急科とありますが、こちらは今年の11月に開設いたしました。救急の医師が循環器科の医師であるため、循環器の搬送数が減っているように見えますが、救急科に含まれているものも多数ございます。

11 頁より一月あたり救急の取扱件数を記載しています。11 頁は、全診療科の分でございます。先ほどと同様に 29 年度は 9 月までの合計となっております。若干少なくなっております。

12 頁が、循環器・心臓血管外科、13 頁が脳血管内科、脳神経外科、14 頁がその他になります。このその他の中に救急科が入っておりますので、少し増えているように見えると思います。

続きまして 15 頁は、時間帯別の救急車の受入件数です。昨年と比較して深夜が増加しております。逆に休日、時間内外が減少している状況です。16 頁が 2016 年度救急車搬送患者数、17 頁が 2017 年度です。18、19 頁がグラフになります。ご参照ください。

④ドクターヘリ受入状況(平成 26 年度～27 年度)

20 頁からがドクターヘリの受入れ状況についてです。平成 28 年度の実績から報告させていただきます。まず件数が 60 件となっております。月平均に直しますと 5.0 件、平成 27 年度が 3.2 件と 1.8 件増加している状況です。診療科別にみると、昨年できた救急科が 13%を占めている状況であります。次に 21 頁ですが搬送の種別になります。現場出動が 24 件、施設間搬送が 36 件となっております。次が男女比ですが、男性が 73%と圧倒的に多いです。年齢別は皆さんご存知のとおり 60 歳以上の高齢の方が多い状況です。転帰についてもほとんどの方が入院している状況です。対しまして平成 29 年度は 19 件、月平均が 3.2 と前年比が $\Delta 1.8$ となっております。診療科別では、救急科が前年の倍の 26%と増加しております。

⑤大型医療機器共同利用の実績(平成 25 年度～29 年度)

25 頁は大型医療機器の共同利用の状況です。当院の保有する医療機器を他の医療機関の紹介患者さんのために利用している、その利用状況になります。平成 27 年度の委員会以降に当院では 3T の MRI 機器を増設しており、件数も増加しています。また、CT の利用件数も増加しておりまして、前年に比べ 30 件近く増加している状況です。当院の大型機器も近隣の医療機関に利用していただいている状況です。

⑥地域の医療従事者向け研修実績(平成 28 年度～29 年度)

続きまして、26 頁からが地域の医療関係者や市民の方のレベルアップ・医療の発展を目指して行っている研修会・講座等の報告です。29 年度も 8 月までに延べ 275 名の方に参加頂いており、院外も 165 名の方に参加して頂いている状況です。昨年度まで実施していた医科歯科連携講習会は、今年度から実施されなくなりまたので少なく見えますが、研修はしっかり取り組んでいる状況です。よろしく申し上げます。

⑦登録医一覧(平成 29 年 10 月 1 日現在)

最後 28 頁からが現在開放型病院として登録頂いている、登録医の先生方の名簿になります。前回 111 件の病院の先生方に登録頂いている状況から今回は 113 件と 2 件増えている状況です。随時更新していきたいと思っております。

事務局からの報告は以上になります。内容につきまして、ご意見・ご質問等あればよろしく

お願いします。

4. 質疑応答等

- 質問ではないですが、鹿児島市消防局の救急搬送状況をご報告させていただきます。10頁のところで救急搬送の状況のお話がありましたが、鹿児島市の救急の搬送件数は今年度は昨年に比べ減っている状況であります。9月までの搬送件数ですが28年度が19,783で今年度が19,646と130件ほど減っており、転院搬送を抜くと230件ほど減っている状況であります。鹿児島医療センターへの搬送件数は694件から718件と24件増えている状況であります。次が資料にはないことですが、6月に開催された救急医療懇談会にお世話になっております。また、救命救急士の救命救急処置に対する医師の具体的指示及び指導条件に関する協定書を締結させていただいた。救急体制の構築や通常の救急業務にご指示、支援をいただいています。(中園鹿児島市消防局局长)
- どうもありがとうございました。救急科を田中医長に専任しております、電話がかかってきたらすぐ受入れと、彼が気持ちよく受けている印象です。うちは救命センターではないので未熟ではありますが、うちの強みは十分に発揮し貢献したいと思っておりますのでよろしくお願いします。(田中医長)
- 紹介患者の中で在宅の方からの患者の割合はどのくらいを占めるのでしょうか。(新名鹿児島市医師会副会長)
- 資料はないので、具体的な数字はわかりませんが増えてきている状況にはあると感じております。今後も増えてくると思われます。(中島副院長)

5. その他(通信病院の機能移転について)

①鹿児島通信病院の診療機能移転の進捗状況について(森事務部長)

まず人員の状況ですが、8月末に社員に条件等の説明をし9月に社員意向調査が完了したと聞いております。30年4月に向かって調整を行っている状況です。次に鹿児島医療センターの病棟等の工事の進捗状況につきまして、病棟の改修工事の入札が終わりまして工事に取り掛かる予定となっております。完成は平成30年2月末を予定しております。場所は8階の臨床研究部と食堂があった場所です。次に現在カルテ庫の改修し肝臓の診療に必要なIVR-CTを設置予定です。30年4月から稼働予定です。腹部エコーの診察室も30年4月までに新設予定です。肝臓内科については4月より前に診療をしたいといっており検討している状況です。

②事務局より今後の委員会について提案

●事務局より今後の委員会について提案がございます。この委員会は年2回開催とされておりますが、近隣に確認してみたところ年2回している施設が多数のようです。野村委員長に事前に確認したところ年2回で場所も院内会議室等を利用して良いのでは?と意見をいただいておりますがいかがでしょうか。(大坪経営企画室長)

○事前にお話しがありましたので。調べてきたのですが、出水郡医師会広域医療センターは毎月開催し年12回開催しているとのことでした、4回規程通りのとこ、2回のとこ、

1回のこととありました。おっしゃるとおり年2回が多かったです。しかしこれは加算がつくところではないかと思しますので、1回はあまりに少ないかと思われます。最低2回は必要かと思います。(新名鹿児島市医師会副会長)

●ありがとうございます。では他にご意見なければ複数回、最低2回の開催で、場所は当院会議室を利用していきたいと思いますがよろしいでしょうか。(大坪経営企画室長)

<異議なし>

●では当院で検討させていただき、時期になりましたらご連絡差し上げます。

【閉会】

今晚は大変貴重なご意見賜りました。当院としてもできるところからといった所で、やらせて頂いています。しかしながらまだまだ不十分な点が多くあるかと思います。委員の先生方より今回に限らず頂きましたご意見を活かしまして少しでも地域の為に役立つ医療を行えればと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。本日は誠にありがとうございました。(松崎統括診療部長)

お時間が参りましたので、これもちまして、第16回地域医療支援病院運営委員会を閉会致します。本日はありがとうございました。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療社会事業専門員、看護師、臨床心理士
患者相談件数	20,900件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none">・ 退院支援に係る相談・ 介護保険サービスに係る相談・ 福祉サービスに係る相談・ 身体障害者手帳関係に係る相談・ 生活保護制度に係る相談・ 医療費に係る相談・ がん相談・ 心理面での相談・ その他	
対応内容	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療従事者及び患者・家族の依頼により面談を行い、社会保険制度の説明や手続き方法の指導、関係医療機関との調整・ 退院後の受療や在宅の支援・ 診療科の案内・ がんに対する問い合わせ・ セカンドオピニオンに関する問い合わせ・ カウンセリング	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 2013年2月受審 公益財団法人日本医療機能評価機構 2018年2月再受審	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 院内掲示 ホームページ 地域医療機関への広報誌	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 病棟と連携し、入院早期から支援の必要な患者・家族への介入や、患者・家族の意思決定にむけた支援を行い、退院後の適切なケア活用に向けた専門的支援を行う。退院、転院に関する情報提供。関係施設との連携。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 脳卒中地域連携クリティカルパス がん地域連携クリティカルパス ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 年3回の勉強会	